

こちら奈良市

東部出張所です

〜未来のために今できること〜

第46号

令和3年1月1日発

編集・発行 東部出張所 奈良市大和町4735
奈良市大和町4735 93-0001
TEL 93-0001
FAX 93-0061

皆さま 新年あけましておめでとうございます。東部出張所所長 補佐の塚本大介です。昨年は当出張所の運営にご支援、ご協力をお願いしてきました誠にありがとうございます。本年も職員一丸となって業務に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生活が一変してしまい、いまだに我慢を強いられている状況が続いています。今年こそは一刻も早くコロナ感染の完全終息を迎え、平穩に暮らせる年になる事を願うばかりかと思えます。

さて、当出張所の地域おこし協力隊の松村竜司隊員が昨年12月末で3年の任期を終了し、また青野勇作隊員も今月末で任期を終了いたします。松村隊員については地域体験 民泊推進事業を中心とした活動ミッションで、青野隊員については農産物栽培・有害鳥獣対策を中心とした活動ミッションで尽力をしていただきましたが、地域の皆様方には在任中大変お世話になりましたことを厚くお礼申し上げます。両隊員共に任期満了後は起業に向けて東部地域の振興のために精力的に活動を続ける予定です。

現在の詳しい活動内容については表面の「す・とうぶだより」でお伝えしておりますのでご覧ください。

本事業につきましては、新年度において新たな形で推進をしていく予定をしておりますので、地域の皆様におかれましては、どうか今後とも引き続き暖かく見守っていただき、ご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。



しごまろくん
©奈良市観光協会

東部出張所 職員のコーナー

新年あけましておめでとうございます。

住民係の倉西です。世代としては団塊世代の次にあたる、高度経済成長期の最初の世代です。子供の頃のお正月は、元日の朝に氏神様や家の神棚、井戸、玄関等におそなえを供し朝食に祖母と母の手作りのおせち料理と、祖父と父が仕込んだお雑煮を食べ少々のお神酒をいただいたといった記憶が残っています。

今年も朝食の後は、近くの神社に初詣に行き、届いた年賀状に目を通し、返事を書くなど今も私の家は、昔ながらのお正月を過ごしています。

また我が家はというわけか、二日に大神神社桜井市への参拝が恒例となっています。今年の神社では、コロナ対応で分散参拝やおみくじも非接触型で参拝者が授与所のカウンターに置かれた光学センサーの上で手を振ると正面の画面に映ったウサギがおみくじの筒を振って番号が表示されたりするようです。

現在の正月という、年賀状はメールに姿を変えて、おせち料理は手作りではなく市販のものが多くなってきました。特に、コロナの影響で家族や親せきが集まっていた一家だんらんの機会が少なくなつたのではないのでしょうか。時代の変化ともにお正月の過ごし方が変化することは当然ではありますが、昔を知る一人としては寂しい思いもあります。

奈良には、四季を通して、伝統的な行事・風習・イベントが多くあります。時代が移り変わり、現代化していく中においても、良き伝統は大切に守っていきたく思います。

都市政策課からのお知らせ②

12月3日に東部ブロック自治連合会代表の皆様と京都府福知山市三和地区に視察に行っていました。当該地区では平成27年に設立された地域協議会が主体となり、平成29年10月より公共交通空白地有償運送(みわひまわりライド)を実施されており、その取組についてお話をうかがいました。みわひまわりライドでは、事前登録された住民の方を対象に、片道400円(事前予約必要)で自宅から目的地(地域内限定)までの送迎を実施され、ドライバーの方は地域の75歳未満の方19名が担われておりました。ドライバーへは1回の運行につき500〜800円の謝礼が支払われているとのことでした。高齢になっても一人でも暮らしていけるまちにするため、地域が主体となって積極的に取組をされました。

三和地区は旧の町役場を中心にスーパー等の生活基盤施設が集積しているなど、奈良市の東部地域とは条件が異なる面もありましたが、当市におきましても、今後の地域の交通を考えるにあたり、一つの選択肢として参考となる部分があると感じました。コロナの影響により今年度は見送らせていただきましたが、来年度に改めて東部地域での交通課題にかかわるワークショップ(勉強会等)を開催させていただき、その中で皆様とともに最適な交通体系を考えていければと考えております。

【お問合せ】 都市政策課(0742-34-4969)

※こちらに掲載の情報は編集の都合上、

12月14日現在のものになります。